

甲田ゆり子活動報告 (2015年12月～2016年3月)

12月

- 福祉連合団体イベント(ユニークダンスを楽しむ会)
- 上高田まちづくりの会
- 認知症みんなで考える中野ネットワーク発足イベント
- 里親制度について勉強会
- データヘルス予防サービス見本市
- 空き室対策シンポジウム
- 盲ろう者のためのバリアフリー映画・シンポジウム
- 上高田2丁目夜会夜餐



- 地方都市行政視察
(金沢市・児童相談所)
(鯖江市・市民協働課JK課)



- 品川区視察
(空き店舗対策事業・ふれあいの家おばちゃんち)

1月

- 野方消防団始式
- 片山町会もちつき大会
- 成人の日記念式典
- 青森10市大祭典
- 区職員震災図上訓練
- その他地域団体等の新年賀詞交歓会に出席
- 公明党都本部・平成28年予算事業説明会



区民相談をお受けした件数
2015年12月～2016年3月…104件
累計1,172件(2011年5月初当選時より累計)

2月

- 少年高齢特別委員会・地域包括ケアシステム勉強会
- アメニティフォーラム(滋賀県大津)
- 西武線沿線まちづくり進捗状況視察(駅まち特別委員会)
- 補助220号線事業化説明会
- アール・フルーツフォーラム(中野サンプラザ)
- 中野区バリアフリー基本構想講演会

- ちよだ猫まつり
(千代田区役所)

- 体育協会臨時評議員会
- 南台いちよう公園 開園式
- 第1回定例会
(2/17～3/25)



3月

- 女性の元気応援隊街宣
- 公明党中野総支部・女性フォーラム開催
- 上高田地域防災訓練(5中)
- 中野ランニングフェスタ
- 中野区防災講演会
- 第五中学校卒業式
- 本五ふれあい公園 開園式
- 新井小学校卒業式
- 中野区グローバル戦略推進フォーラム
- 公明党青年局とボイスアクションアンケート実施



甲田ゆり子地域実績



- ▲ 2016年6月
道路舗装補修・振動解消
業師柳通り(南側)

* 何年も前からご要望をいただいていた。平成27年度 南側完了、28年度 北側を整備予定です。



- ▲ 2016年3月
「自転車注意看板」設置
江原町1丁目
22-11

こうだ 甲田ゆり子NEWS

生まれ育った中野を笑顔輝くまちに



VOL.020

発行元: 中野区公明党議員団
2016年 初夏号

ご挨拶

いつも地域の皆様にはお世話になり、真心からのご支援をいただき心から感謝申し上げます。

この度、甚大な被害をもたらした熊本・大分の大地震におきまして、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。今後、議員団としても適切な被災地支援を行ないながら、地域のためにさらに働いてまいる決意です。是非、引き続きご意見・ご要望を賜り、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

甲田ゆり子

熊本地震 被災地にさらなる支援を

中野区として今回の被災地支援に、いち早く乗り出しました。段階に応じた支援が必要であり、第一段階では、支援物資の輸送を(現地で荷卸しをする職員の派遣を伴って)行ない、追って、被災建築物の応急危険度判定員として建築職の区職員の派遣、さらには、被災者の心身のケアのため保健師の派遣などを実施しています。

4月25日、公明党議員団としても田中大輔中野区長に対し、中野区から被災地へのさらなる支援を引き続きお願いすべく、緊急要望をしました。



■ 被災地へのボランティアに関する問い合わせについては、中野区社会福祉協議会へ
中野区中野5丁目68番7号4階 ● ホームページ: <http://www.nakanoshakyo.com/>

第1回定例会で一般質問に立ちました

(第1回定例会:2月17日～3月25日)

中野区議会 第1回定例会にて、平成28年度予算が可決しました。甲田ゆり子は今回、2月22日(月)の本会議において一般質問に立ちました。質疑の内容は中面をご覧ください。



甲田ゆり子連絡先

- 公明党控室 03-3228-8875 FAX 03-3389-8680
- ホームページ <http://koudayuriko.com/>
- ブログ <http://koudayuriko.com/blog/>
- Eメール kouda-yuriko@aioros.ocn.ne.jp
- Twitter @KoudaYuriko
- Facebook 甲田ゆり子 または Yuriko Kouda で検索



甲田ゆり子ホームページ



平和の森公園の再整備構想について

「明るく安全でさらに憩える公園に整備せよ」

質問 今回の構想(案)では、未開園部分が開園できることで地元住民の不安を解消できた。新たに3,500㎡拡充される広場は、子どもたちがいつでも自由に楽しむことができるスペースになると考えるがどうか。また、公園内にソーラー式園内灯を増やし明るく安全に散策できるようにし、「都会の中の小さな森」として愛称もつけ、自然の生物や植物を観察して楽しみ、ふるさとの思い出をつくれる公園として整備してほしい。

答弁 乳幼児が安心して遊べる公園整備に配慮したい。また、ソーラー式園内灯の設置も検討したい。さらに、既存の森などが広く利用され、区民、公園利用者から愛称と呼ばれるような整備に努めていきたい。

「平和・文化発信の拠点に」

質問 体育館竣工時期が東京オリ・パラ開催と重なることを活かし、アール・ブリュット等の文化展示をしたり、自治体間交流の足跡を展示するなど、中野の歴史文化を発信し、青少年の交流を促進するイベントなどを企画してほしいかどうか。

答弁 スポーツにとどまらず、平和、文化に関するイベントを開催することも視野に入れて検討する。

「区民・地域に利点の丁寧な説明を」

質問 懸案であった約1ha部分の開園、公園と体育館の相乗効果による防災機能充実などが示され、さまざまな課題解決につながった。これが、一部の方々の主張した、「体育館の位置を振り出しに戻して別の場所へ設置」としたならば、公園は現状のままであり、代替地の選択、用地確保の費用や時間のロスなど、かえって利用者をめめた区民に対しての不利益な状況が生まれたと考える。今後、地元町会等に向こうなどして丁寧に説明をすべきでは。

答弁 約20年間にわたり開園できなかった公園未開園部分を含む全面開園が実現すること、新規の公園整備を対象とした社会資本整備総合交付金や都市計画交付金の活用が想定できること、また、現在のところ未利用の土地活用は、既設施設の解体等の必要はなく、時間のロスも少ない等、大きな利点がある。今後の計画を進めていく中で、こういった利点も含めて説明をしていきたい。

子育て支援について

「子育て支援に対する考え方を示せ」

質問 今回子ども施設の統廃合と見られる計画が出された。現代は物理的に家庭の子育て力が十分でない環境がある。多様なニーズに応え、親の選択の幅が広がることも大切だが、「子ども自身」に焦点を当て、各関連機関が思いを共有して「子どもの権利」を守ることが重要と考える。そうした、中野区の子育てと教育に対する考え方を改めて示し、その方針がどのように今後の施策に活かされるのか、具体的なロードマップを示してほしい。

答弁 子育てや教育を含む区政全般について、事業内容や詳細なスケジュールを個別に示し、区民の理解と協力を得ながら、着実に総合的に推進をしていきたい。

「子ども総合施設に親子・異世代交流の場を」

質問 親子交流スペースの拡充、異世代交流の場が重要。交流の中で、相談機能、情報提供が存分にできる場があることは、安心して子どもを生み育てられる環境整備となる。そのような子ども総合施設が必要である。教育センターと子ども家庭支援センター統合の際には、気軽に寄れる雰囲気親子交流スペースも確保すべき。さらに区の子育て支援情報を発信し、人材確保の場にもしてほしい。

商店街活性化支援について

「商店街に住民ニーズの高いサービスを誘導する支援を」



※写真はイメージです。

質問 商店街に対する支援策をさらに講ずるべきと考える。それには住民ニーズや商店街の事情、行政の各種支援策を調整し打開策を提案できるコーディネーターの存在が重要。主婦や女性の感性が生かされる分野でもある。地域商業活性化担当には女性の担当者を配置してほしいかどうか。

答弁 区の地域商業担当は、職員は生活者感覚を基礎にしつつ、にきわいづくりや活性化に取り組んでいる。引き続き女性の感性の発揮を含めて、商店街活性化に意欲的に取り組んでいきたい。

質問 品川区の空き店舗対策事業を視察したところ、子育て支援事業所の誘致が実現し、商店街が活性化してきた事例があった。商店街活性化を促進する政策として、中野区版の空き店舗対策事業を行ってほしいかどうか。

答弁 都の事業の周知を図るとともに、事業者と商店街をマッチングする取り組みを検討していく。

そのほか、「多子世帯の支援について」「発達に課題のある子どもへの一貫した支援について」「子育てコンシェルジュについて」「復興支援と震災対策について」の質疑を行いました。
★詳しくは中野区議会ホームページ・会議録検索にてご覧ください。



答弁 子どもの養育や教育についての相談や支援を体系的に行える専門性の高い相談支援拠点を整備すると同時に、他機関の連携による支援やアウトリーチ対応の充実を図っていき、こうした取り組みの中で、区民への情報発信や啓発、人材育成なども進めていく。

「食を通じた子育て支援の仕組みづくりを」

質問 食を通じた支え合いが重要。区も都も支援を図っている「子ども食堂」を切り口に、地域の資源をつなぎ合わせる仕組みをつくるべきと考えるが、区の見解は。

答弁 全員参加型社会をつくり出す上では、支援者の関心や動機を的確に捉え、コーディネートできる体制を整備していきたい。

